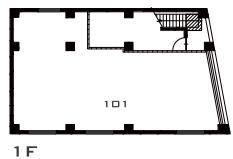
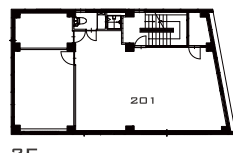
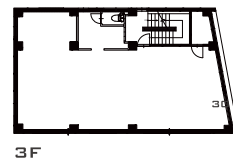
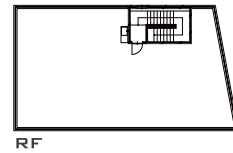


建物そのものだけでなく 地域の再生にも配慮した改修



■BLDG64 (ビルディング64)

所在地 福岡県福岡市中央区
 主要用途 事務所、ギャラリー
 設計・施工 アポロ計画
 リノベエステイット事業部
 構造・構法・規模 RC造
 RC造、地上4階
 建築面積 386.18㎡
 敷地面積 114.24㎡
 竣工 2011年1月

物件の資産価値を上げるため、建物自体の改修だけでなく、ここを拠点に各種イベントを行うなどコミュニティ形成にも配慮。「場」そのものの再生を行った実例である。
 (松山真介)

福岡市の中心部にほど近い街の一角に、東京オリンピック開催の一九六四年に竣工した集合住宅が住み手を失って長年放置されていた。この建物を新たな文化の発信地とすることを目的に、一棟のビルすべてを改築する計画が開始した。

ビルの一階はガレージやイベントに使える多目的なオープンスペースに。住戸が入っていた二階と三階は既存の壁を撤去してフロア全体をつなぎ、二階をギャラリー兼シェアオフィス、三階をオフィスに変更した。二階は既存の三住戸を仕切る壁を利用し、三つのテナントの入居スペースを用意。どのフロアも壁や天井の凸凹や欠けをあえて残しながら白く塗装し、入居者が自由に使用できるニュートラルな空間に仕上げている。さらに、屋上には植栽がふれる憩いの場を設置。二階の外壁にはブラランターと植物を這わせるためのフェンスを設け、屋上加えファザードの緑化を試みた。